

碧 M 企画

健康経営コンサルタント

Smiles invite happiness



Aoi TOPIX

2020.6.22 Vol 13

今月19日、厚生労働省は「新型コロナウイルス接触確認アプリ COVID-19 Contact-Confirming Application(COCOA)」を配信開始しました。現在、筆者も DL して使用しています。このアプリは Google Play および App Store から入手でき、対応端末で利用可能です。個人情報が漏洩する心配がなく、個人の判断で新型コロナウイルスの感染拡大を防止に協力できることや操作がシンプルで使いやすいのが印象です。

新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について通知を受けることができるので、「**知らないうちに自分がキャリアになっていた……**」などの不安や恐怖を緩和できるツールだと感じています。

筆者の個人的な見解ですが、これまでの報告でも感性経路不明の報告が多いことから、感染拡大を防ぐ上で有効な取り組みだと評価しています。

今回は、「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」についてご紹介いたします。

COCOA の特徴

他国の濃厚接触通知アプリは、政府が個人情報である住所、電話番号、行動履歴などを監視・管理できるシステムであるのに対して、COCOA は、個人情報を監視・管理するのではなく、濃厚接触にフォーカスして通知するシンプルな日本独自のシステムといえるでしょう。

濃厚接触の判断基準は他者と1m以内で15分以上の接触をスマホの Bluetooth 機能で検知して14日間の情報を保存、感染が確認された時点で報告すると接触した人へ通知される仕組みです。感染した人の情報は公開されず接触した件数(過去14日)が通知されるようです。


期待される効果

利用者の個人情報保護を保ちながら、集団感染(クラスター)の発生をいち早く検知し、早い段階で感染拡大を防ぐことが期待されています。

「オックスフォード大学が発表したシミュレーションによれば、このアプリが**人口の6割**近くに普及し、濃厚接触者の早期の隔離につなげることができれば、ロックダウンを避けることが可能となる」と述べています。

安倍首相が言及したシミュレーションは、英オックスフォード大学のクリストフ・フレイザー教授のグループが発表したものを参考にしているようです。論文ではアプリで感染者の効果的な追跡を行うアイデアについて、数理シミュレーションを用いて検証した上で、濃厚接触者の感染確認か

ら隔離の期間を短くすることが感染拡大を防ぐ上で効果があることを示しています。この試算結果では、「人口の56%またはスマホユーザーの80%がアプリを使用すれば、エピデミック（感染拡大）を防ぐことができる」としています。



厚生労働省
新型コロナウイルス
接触確認アプリ
COCOA
COVID-19 Contact Confirming Application

2020年6月15日から 60日間使用中
陽性者との接触を確認する (14日間)

新型コロナウイルス陽性と診断されたら
周りの人達を守るために匿名での陽性登録へのご協力をお願いします。
陽性情報の登録

本アプリを広めましょう
本アプリは多くの方にお使いいただくほど効果を発揮します。
アプリを周りの人に知らせる

COCOAは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです

* 画面イメージ

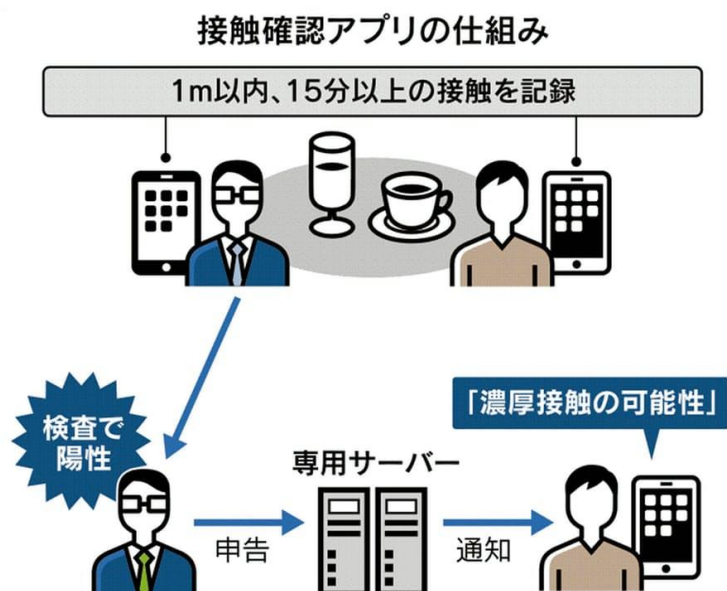
政府の狙いと情報活用

政府 CIO（最高情報責任者）が公表した接触確認アプリの仕様書によると、スマートフォンの個人保有率が64.7%（令和元年版 情報通信白書）であることから、「**最大で国民の6割以上が導入することを目指す想定**」でシステムの拡張性を確保するとしている。スマホを持つすべての国民がアプリを導入して、ようやく達成できるのが6割という水準です。

この目標を実現するためには、LINE 並み（ダウンロード数非公開、国内月間アクティブユーザー8400万人以上。「LINE Business Guide」より）の導入が必要になるといわれています。

仮に導入が6割に満たなかったとしても効果が無いわけではありません。例えば通勤電車内での接触者など、これまでの聞き取り調査では確認できていなかった濃厚接触者がアプリを通して判明する可能性もあり、これまで収集困難であった情報を得る事が可能になります。

また、対応人員がひっばくしている**保健所の省力化**にも役立つことも期



待されています。実際、新型コロナウイルス感染症対策の専門家会議の提言では、省人化のための対策の一環として、アプリの活用を位置づけています。日本が効果を上げている、感染源を探るクラスター対策「**さかのぼり接触者調査**」を支えるものとして、アプリから得られる情報は有効に機能します。

今後の課題

今後の課題のひとつは、利用者の広がりだと考えています。多くの人が使えば使うほど、効果が期待できる一方で、はたしてどれだけの人インストールするかどうかは現段階では不透明です。各自治体や企業で積極的な普及活動の後押しやメディアなどの協力も必要になると考えています。また、運用次第では「**アプリで通知された人が優先して PCR 検査を受けられる**」といったインセンティブを与えれば国民の期待と理解が広がり効果が得られるものと考えています。

COCOA 詳細情報

詳しくは下記のサイトへアクセスして確認して下さい。

厚生労働省 COCOA 配信サイト

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

自分の身近な大切な人を守るためにも役立つアプリだと思います。

国民の多くが登録して利用することで、都市ロックダウンに値する効果が期待されるようです。第2派に備えこの機会にご検討下さい。

碧 M 企画の基本サービス

産業医や健康保険組合と連携して、従業員のヘルスケアサポートを以下のサービス内容で提供します。



ヘルスケアサポート、健康経営サポート、リクルートサポート

碧 M 企画

代表：渡嘉敷 忠 産業看護職（看護師）

健康経営エキスパート・アドバイザー（東京商工会議所認定）認定番号：19000749

ストレスチェック実施者（厚生労働大臣指定研修受講）

第1種衛生管理者

電話：080-9851-1569

URL: <https://www.aoi-mk.com/>

